

産業医のための海外健康管理状況

ーフランスを中心にー

愛港園診療所 木戸友幸

異文化体験の履歴

1971年：大阪医大入学

71～73年：YMCA English School週3回

1973年：一ヶ月間バックパック欧州旅行

73～76年：大阪日仏学院週3回

1975年：グルノーブル大学フランス語夏期講習

1977年：大阪医大卒業

77～80年：大阪医大第三内科にて研修医

80～83年：Downstate Medical Center, Brooklyn NYにてFamily Medicine Residency

83～92年：国立大阪病院総合内科

1990年：湾岸危機日本医療隊チームリーダーとしてリヤドに一ヶ月滞在

95～97年：パリ・アメリカン病院にて開業

97～2016年：木戸医院

本日のお話

- 1) フランスの労働環境
- 2) 労働環境が良好な理由
- 3) フランスの産業医
- 4) パリ・アメリカン病院

フランスの労働者の環境は世界一

- 短い労働時間
- 長い休暇
- 文句があればストで権利主張

短い労働時間

- 週35時間；EU諸国で最短
- 残業；それに当たるフランス語はなし
- サービス残業？；そんなものがある国があるの？
- 体調不良；出勤前にかかりつけ医受診して「あれ」を貰おう！

かかりつけ医にもらう「あれ」とは？

Arrêt de travail

長い休暇

1936年に年休2週間が法定化！！

現在、法定年休25日；EU内で最長。病欠、祭日は別。100%消化。

<https://www.youtube.com/watch?v=hf9EvkhyfyA>

ストライキ (grève)

- 1995年；公務員年金法反対、一ヶ月間のゼネスト
- 2019年；黄色いベスト (gilet jaune)、ガソリン税増反対、戦後最長のスト

フランスで労働者の権利が守られる理由

- 国民の「自由、平等、友愛」を守る民法の充実（その原型はナポレオン法典）
- やはりフランス革命がその原点

労働者の権利を守り続けられるのか？

- 西側諸国はこぞって疑問視
- 1981年に社会党党首ミッテランが大統領就任時の西側諸国の新聞は「フランスは積年のツケをまた先送りした」と酷評
- その後、サルコジ、そして現在のマクロンがアメリカ型の資本主義を目指したが、道半ば

フランス革命の威光を維持できる秘密

- 歴代フランス政府のイメージ戦略（ソフトパワー）の巧みさ
- フランス国歌（la Marseillaise）は愛と自由の象徴？

ラ・マルセイエーズ、前半訳

- 行こう 祖国の子供たちよ
栄光の日が来た！
私たちに対して 暴政の
血まみれの旗が上がった
血まみれの旗が上がった
- 聞こえるか 戦場の
残酷な軍人のうなりが？
彼らは私たちの腕の中まで来て
私たちの息子や妻の 喉を掻き切って殺す！

ラ・マルセイエーズ、後半訳

- 武器をもて 市民よ
軍隊を組め
向かおう 向かおう！
けがれた血が
私たちの田畑をうるおすまで！

その後のイメージ

- <https://www.youtube.com/watch?v=mojyVuHZGxQ>
- <https://www.youtube.com/watch?v=2b8OCFURCyE&pp=QA%3D>

フランスの産業医

- 医学部卒業後3年間の研修で産業医専門医に
- 臨床や研究との兼業は不可
- 「書類仕事のための医師」と揶揄され、人気はイマイチ

パリ・アメリカン病院

- パリ郊外にある100年を超える歴史を持つ国際病院
- 二度の世界大戦に貢献したことで、外国人医師が自国の医師免許で診療できる特権を持つ
- 診療する医師はすべて個人開業の形態をとる
- 外来診察室を賃貸してもらい、病院に入院させる権利がある
- 病院の検査機器の利用も可能
- 国民皆保険のフランスにおいて、自由診療が可能
- 入院は全室個室で、食事も高級レストラン並み
- American Hospital of Paris 画像

結論

日本国が真剣に労働者の権利を守る気がある
のなら、100年の計で「日本のソフトパ
ワー」を作り上げよ！！！！